

中小企業景況調査報告書

2024年10月～12月期

高知県商工会連合会

中小企業景況調査

[調査事項]

1. 調査対象

(1)調査対象地区

室戸市	香美市	大豊町	本山町	土佐地区
いの町	春野	仁淀川町	中土佐町	津野町
梶原町	四万十町	三原村	大月町	

(2)調査企業数 150企業

(3)回答企業数 148企業 (回答率：98.7%)

2. 調査対象期間

2024年10月～12月期を対象とし、調査時点は2024年11月15日とする。

3. 調査方法

(1)商工会の経営指導員による訪問面接調査

(2)調査対象地区は市町村人口規模に勘案して行い、調査対象企業の抽出は業種、規模等有意選出法による。

4. 回答企業数の内訳

業種	回答企業数	構成比 (%)
製造業	34	23
建設業	22	14.9
小売業	42	28.4
サービス業	50	33.8
合計	148	100.0

注記 本報告書のDIとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査事項についての増加（上昇、好転、長期化）の企業割合と減少（低下、悪化、短期化）企業割合の差を示すものである。

1. 産業全体の景況概要

○商工会地域における今期（2024年10月～12月期）の状況

[製造業]

(D I 値)

項目 \ 期	2024年 7月～ 9月	2024年10月～12月	対前期比
売上額	△ 3.0	△ 26.5	23.5ポイント下降
採算	△ 8.8	△ 26.4	17.6ポイント下降
資金繰り	△ 9.1	△ 17.6	8.5ポイント下降

[建設業]

(D I 値)

項目 \ 期	2024年 7月～ 9月	2024年10月～12月	対前期比
完成工事額	△ 17.4	△ 22.8	5.4ポイント下降
採算	△ 21.7	△ 36.4	14.7ポイント下降
資金繰り	△ 13.1	0.0	13.1ポイント上昇

[小売業]

(D I 値)

項目 \ 期	2024年 7月～ 9月	2024年10月～12月	対前期比
売上額	△ 31.0	△ 57.2	26.2ポイント下降
採算	△ 38.1	△ 47.6	9.5ポイント下降
資金繰り	△ 2.4	△ 28.6	26.2ポイント下降

[サービス業]

(D I 値)

項目 \ 期	2024年 7月～ 9月	2024年10月～12月	対前期比
売上額	10.0	0.0	10.0ポイント下降
採算	△ 20.0	△ 10.0	10.0ポイント上昇
資金繰り	△ 10.0	0.0	10.0ポイント上昇

○来期見通し(2025年 1月～ 3月期)

(D I 値)

業種 \ 区分	売上額 完成工事額	採算	資金繰り
製造業	△ 23.5	△ 17.6	△ 14.7
建設業	△ 50.0	△ 31.9	△ 27.3
小売業	△ 31.0	△ 45.2	△ 26.2
サービス業	△ 2.0	△ 24.0	△ 8.0

2. 産 業 別 景 況

製造業の動向

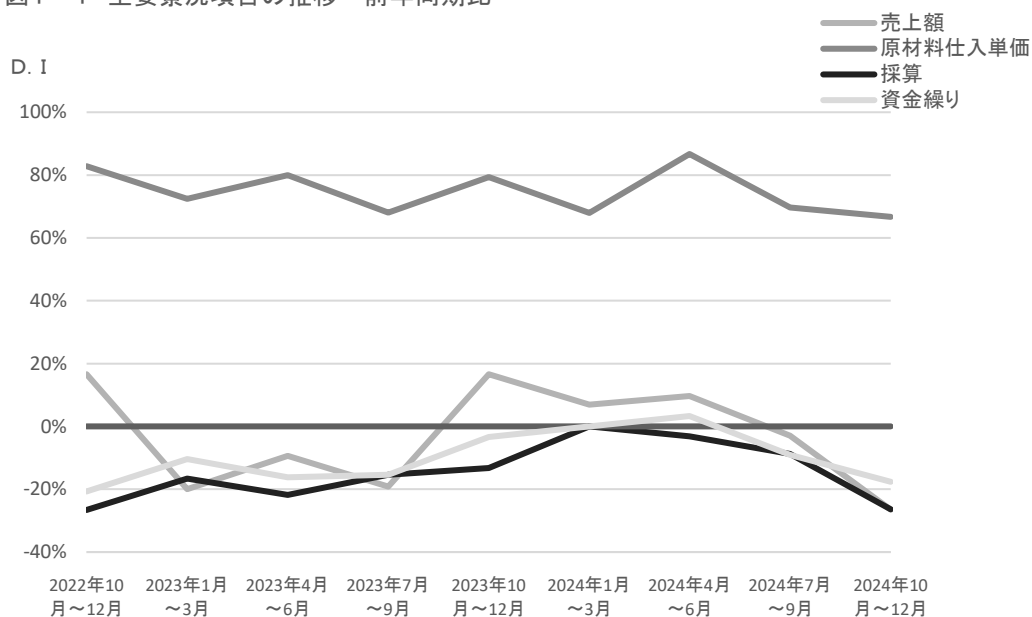
○主要景況項目から見た概要

- ・売上高DI値は、 $\Delta 3.0 \rightarrow \Delta 26.5$ と23.5ポイント下降
(同全国値は、 $\Delta 13.9 \rightarrow \Delta 15.7$ と1.8ポイント下降)
- ・採算DI値は、 $\Delta 8.8 \rightarrow \Delta 26.4$ と17.6ポイント下降
(同全国値は、 $\Delta 25.0 \rightarrow \Delta 24.7$ と0.3ポイント上昇)
- ・資金繰りDI値は、 $\Delta 9.1 \rightarrow \Delta 17.6$ と8.5ポイント下降
(同全国値は、 $\Delta 14.7 \rightarrow \Delta 17.0$ と2.3ポイント下降)

今期は、売上高DI・採算DI・資金繰りDIでマイナス幅が拡大した。

来期は、売上高DI・採算DI・資金繰りDIでマイナス幅に縮小が見込まれる。

図1-1 主要景況項目の推移—前年同期比—



項目 \ 期	2022年1月~3月	2022年4月~6月	2022年7月~9月	2022年10月~12月	2023年1月~3月
売上額	0.0	0.0	$\Delta 3.3$	16.6	$\Delta 20.0$
原材料仕入単価	70.0	86.7	82.1	82.8	72.4
採算	$\Delta 29.0$	$\Delta 25.8$	$\Delta 35.5$	$\Delta 26.6$	$\Delta 16.6$
資金繰り	$\Delta 6.6$	$\Delta 9.7$	$\Delta 16.7$	$\Delta 20.7$	$\Delta 10.4$

図 1 - 2 売上額推移（月別指数）

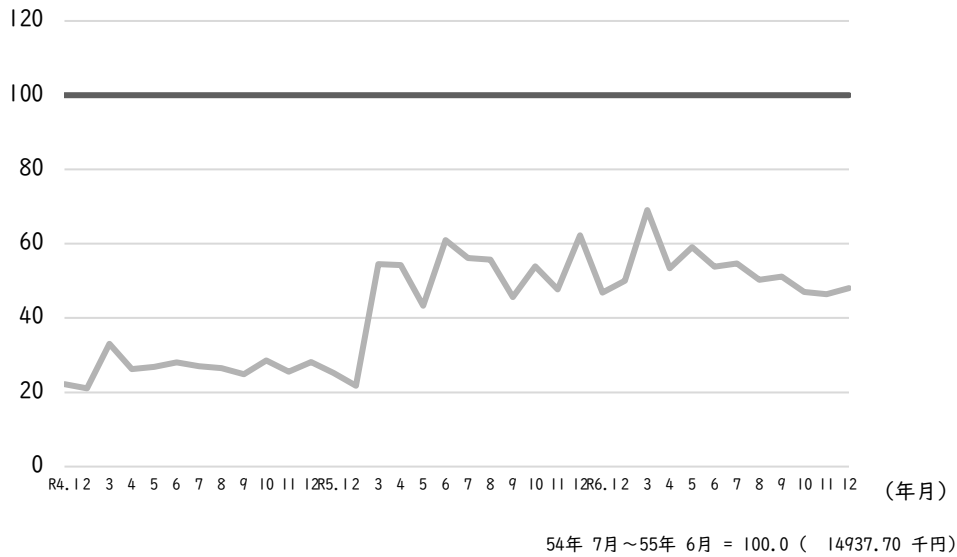


図 1 - 3 売上額の状況－前年同期比－

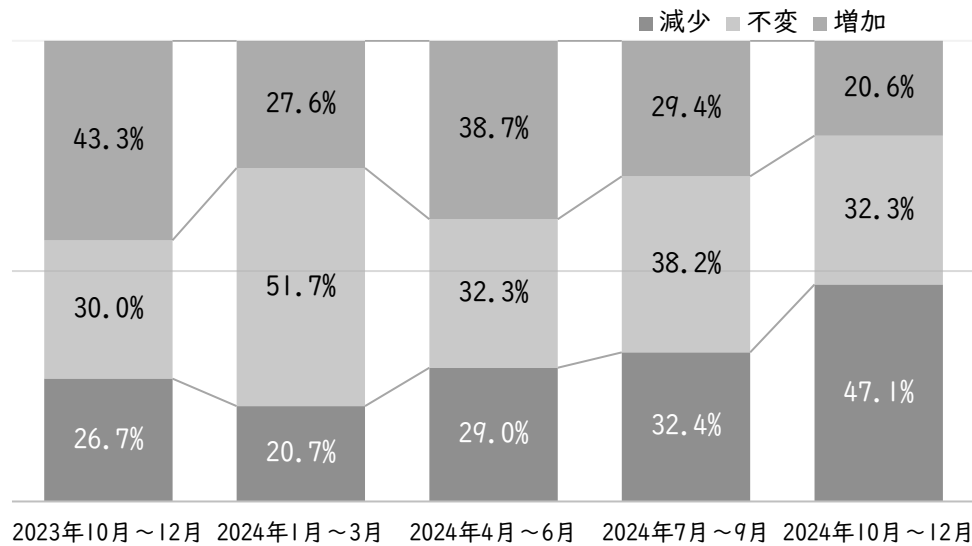


図 1 - 4 採算の状況－前年同期比－

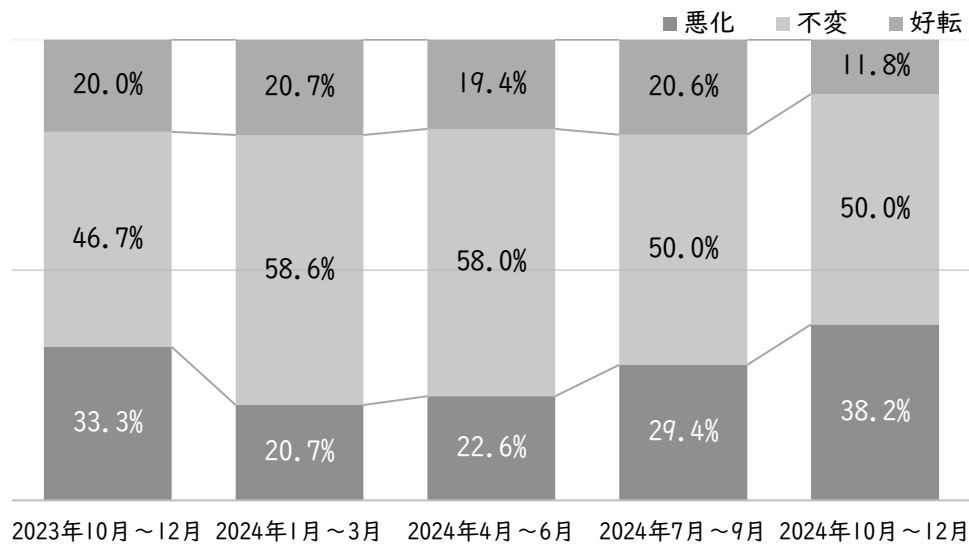
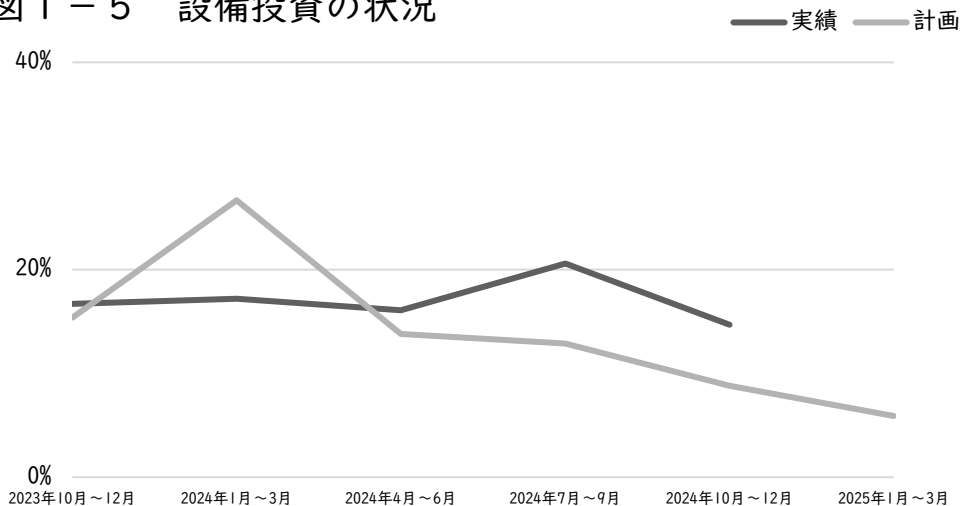


図 1-5 設備投資の状況



(計画)

図 1-6 経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)

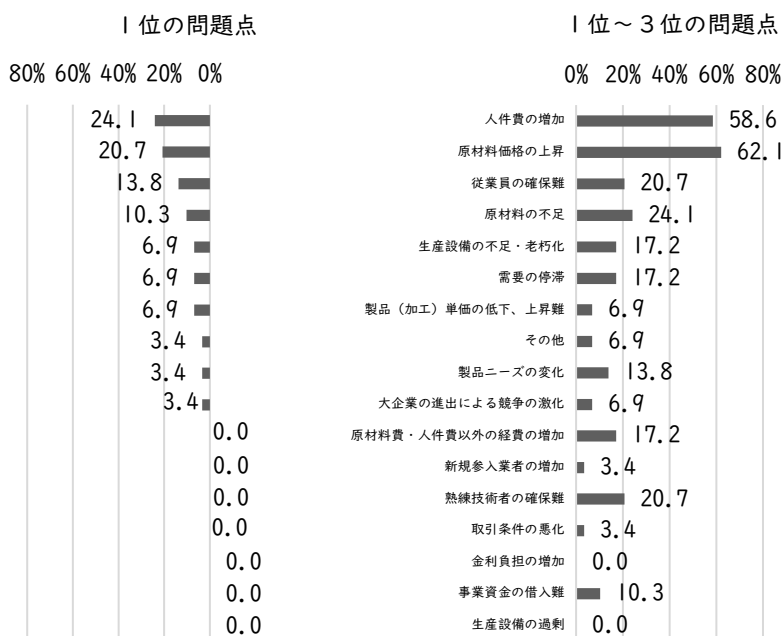


図 1-7 経営上の問題点の推移

(1位の問題点・上位5つ)

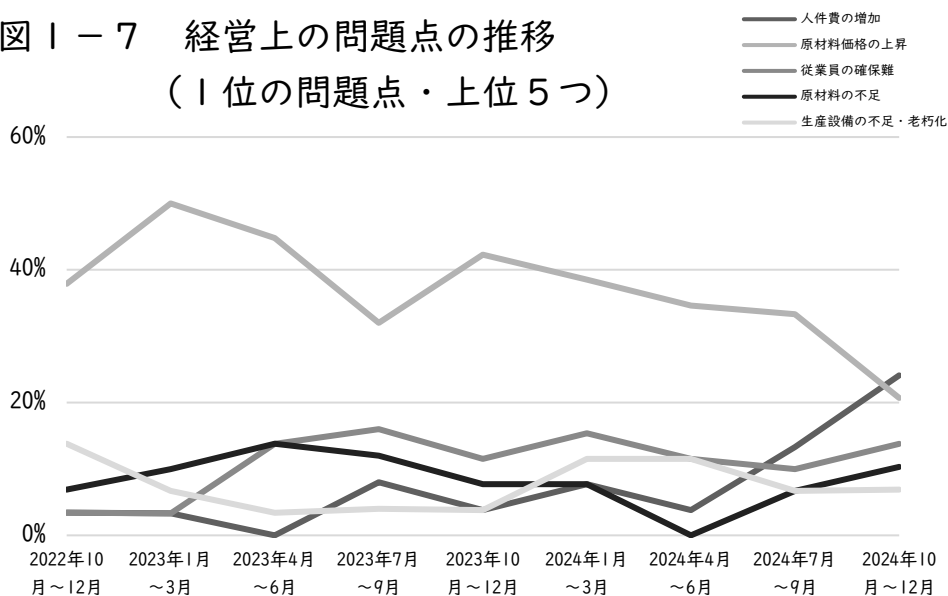


図1-8 売上額の状況－前年同期比－

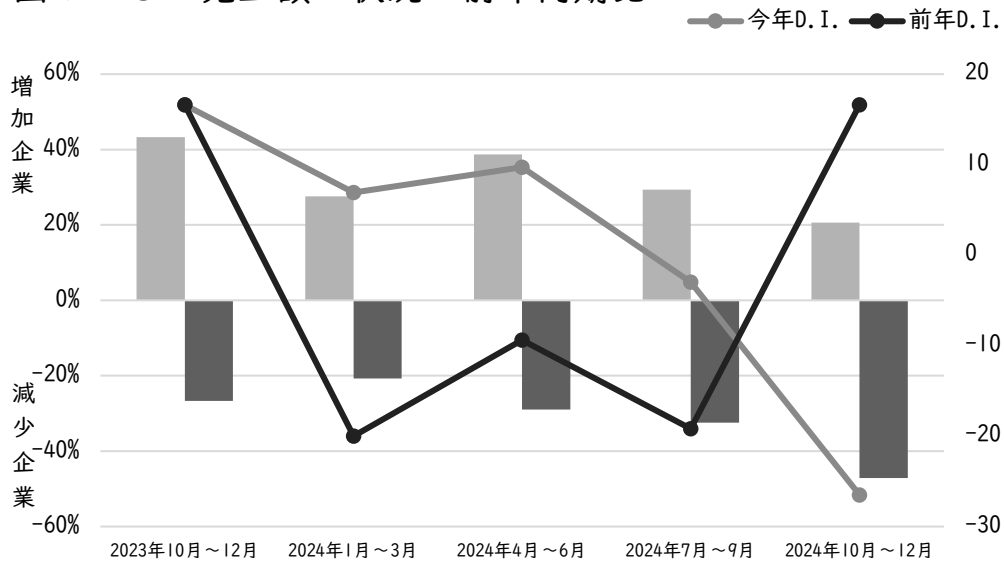
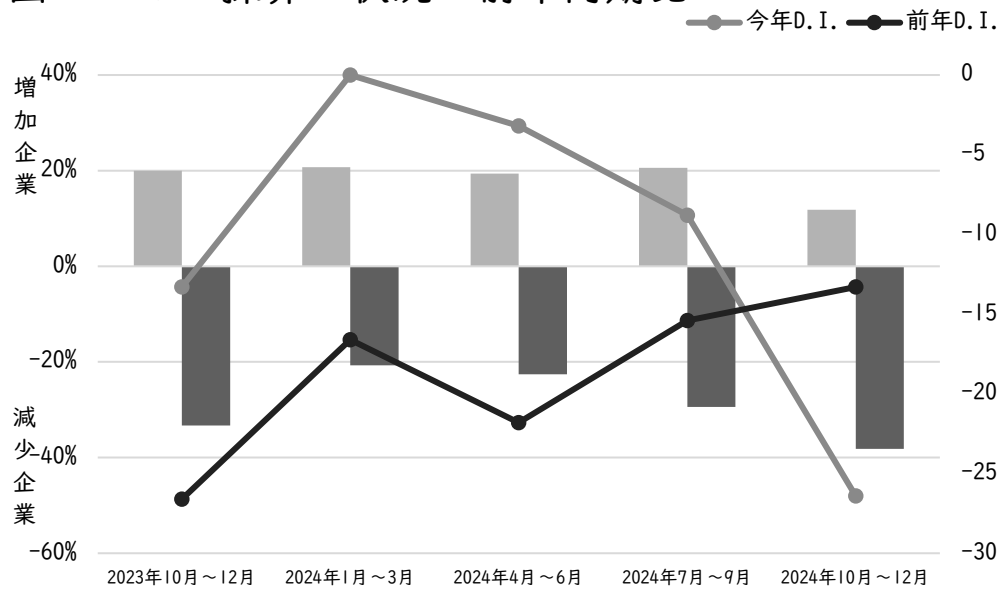


図1-9 採算の状況－前年同期比－



建設業の動向

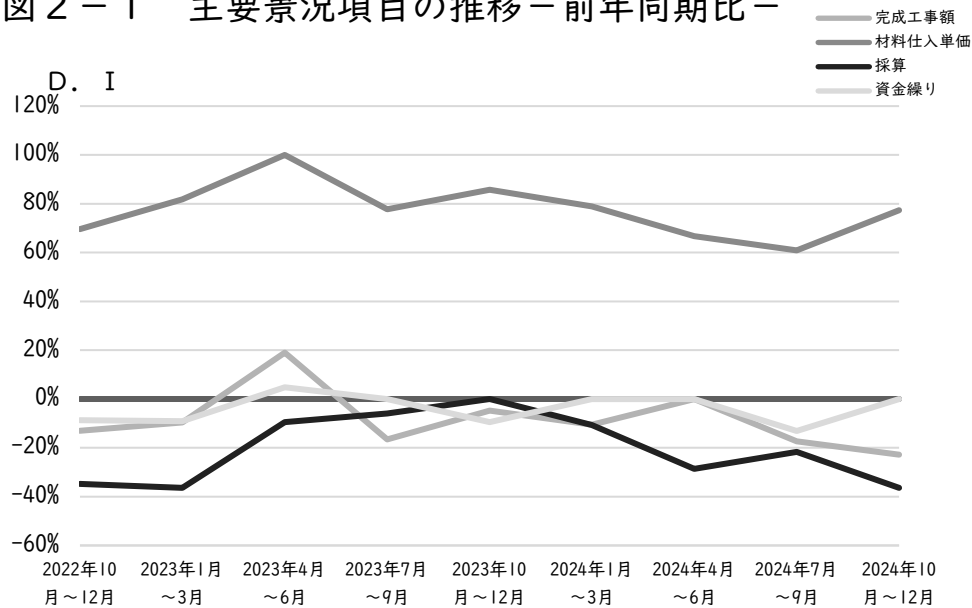
○主要景況項目から見た概要

- ・完成工事額DI値は、 $\Delta 17.4 \rightarrow \Delta 22.8$ と5.4ポイント下降
(同全国値は、 $\Delta 15.2 \rightarrow \Delta 12.6$ と2.6ポイント上昇)
- ・採算DI値は、 $\Delta 21.7 \rightarrow \Delta 36.4$ と14.7ポイント下降
(同全国値は、 $\Delta 23.7 \rightarrow \Delta 21.4$ と2.3ポイント上昇)
- ・資金繰りDI値は、 $\Delta 13.1 \rightarrow 0.0$ と13.1ポイント上昇
(同全国値は、 $\Delta 10.2 \rightarrow \Delta 9.2$ と1.0ポイント上昇)

今期は、完成工事高と採算DIでマイナス幅が拡大し、資金繰りDIでマイナスが改善した。

来期は、完成工事高DIでマイナス幅が拡大し、採算DIでマイナス幅が縮小し、資金繰りDIでマイナスに悪化が見込まれる。

図2-1 主要景況項目の推移－前年同期比－



項目 \ 期	2022年1月～3月	2022年4月～6月	2022年7月～9月	2022年10月～12月	2023年1月～3月
売上額	$\Delta 45.4$	$\Delta 17.4$	$\Delta 5.0$	$\Delta 13.0$	$\Delta 9.6$
原材料仕入単価	73.9	87.0	77.3	69.6	81.8
採算	$\Delta 47.8$	$\Delta 43.5$	$\Delta 27.3$	$\Delta 34.8$	$\Delta 36.4$
資金繰り	$\Delta 8.7$	$\Delta 8.7$	0.0	$\Delta 8.7$	$\Delta 9.1$

図 2 - 2 完成工事額推移（月別指数）

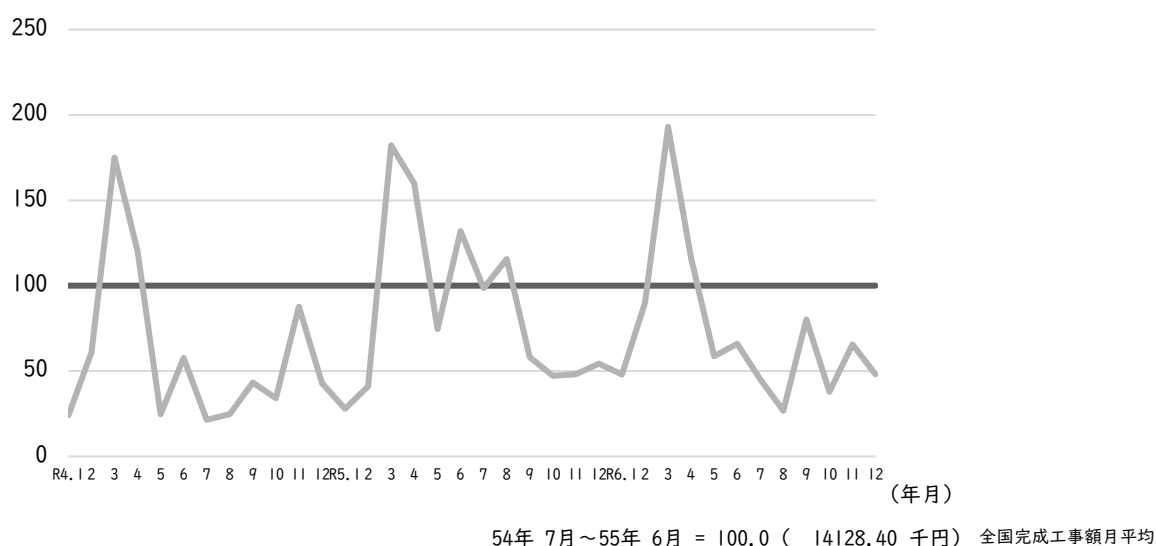


図 2 - 3 完成工事額の状況－前年同期比－

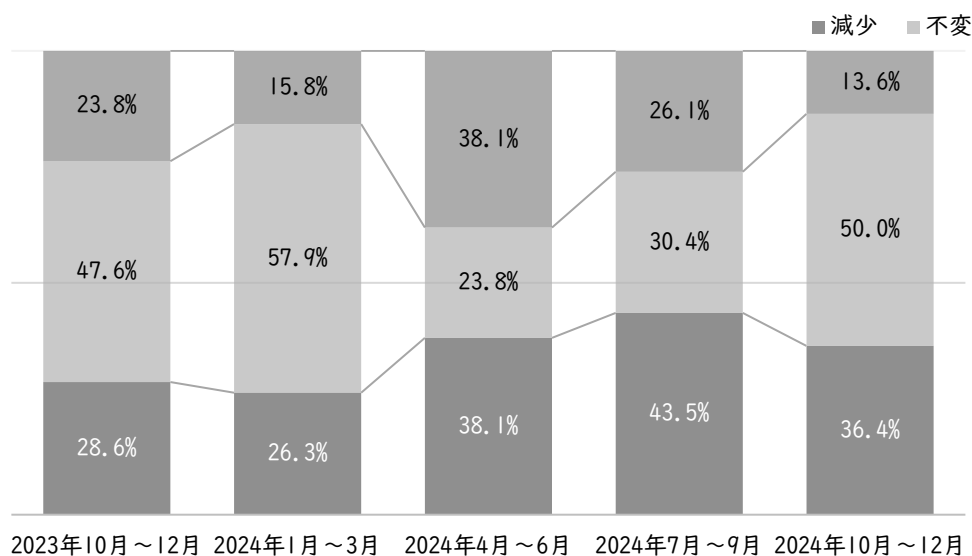


図 2 - 4 採算の状況－前年同期比－

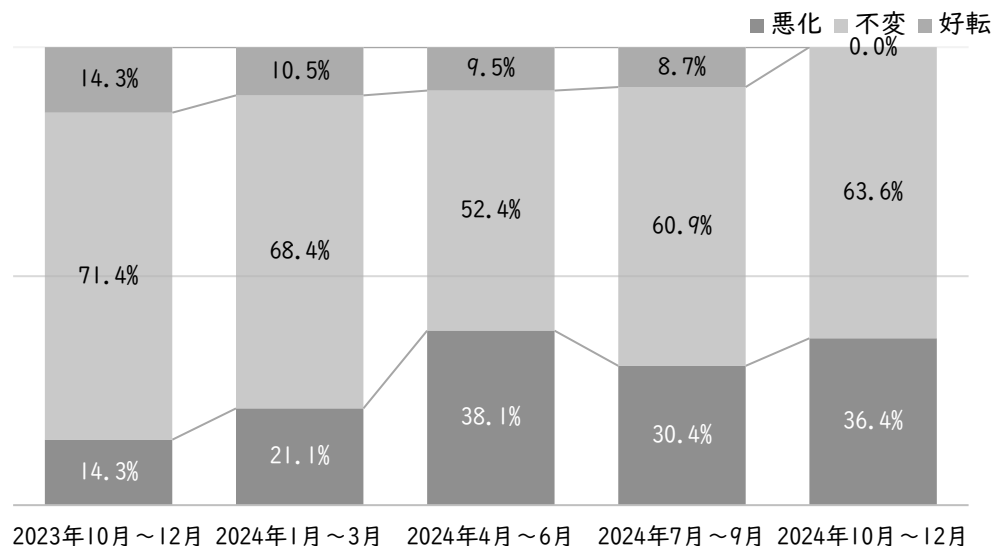


図 2 - 5 設備投資の状況

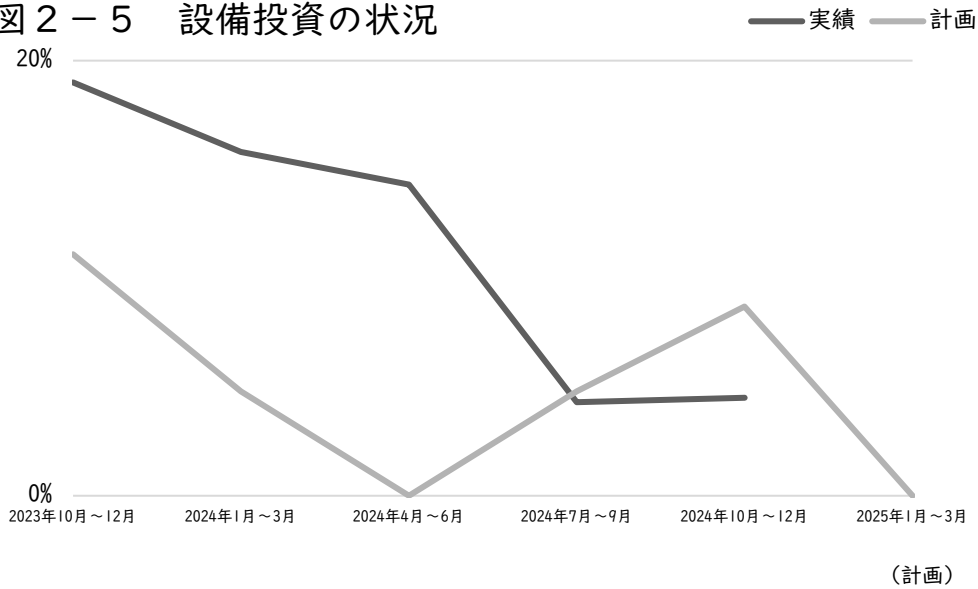


図 2 - 6 経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)

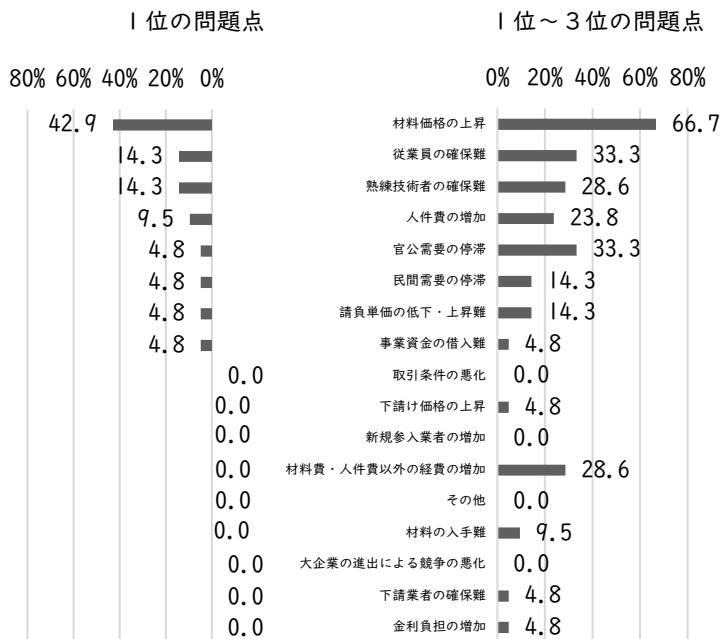


図 2 - 7 経営上の問題点の推移

(1位の問題点・上位5つ)

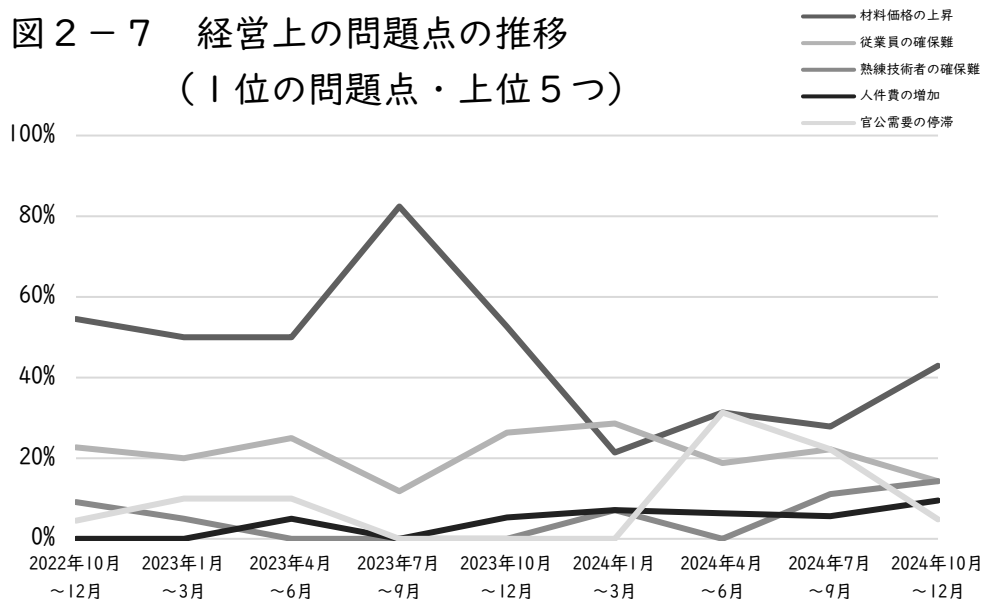


図 2 - 8 完成工事額の状況－前年同期比－

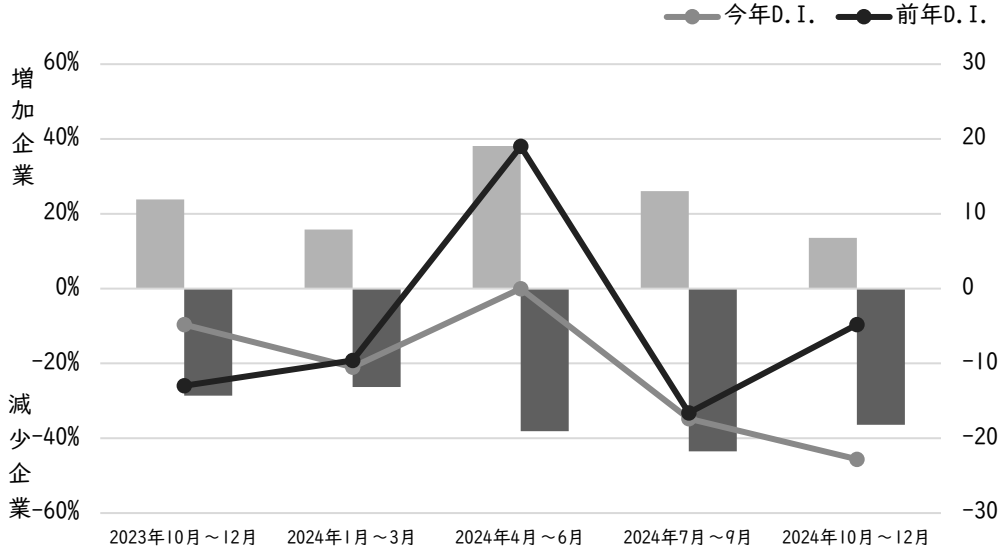
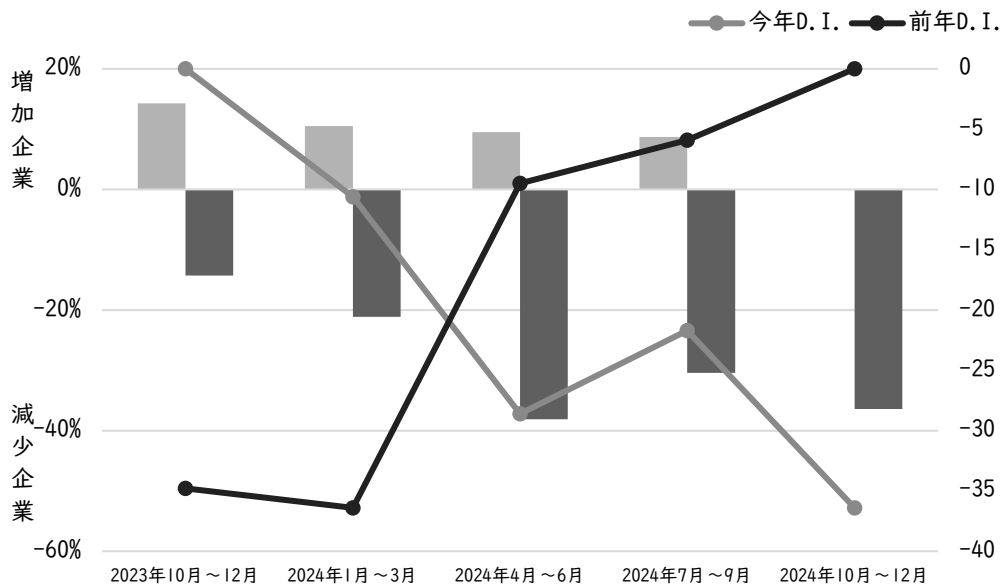


図 2 - 9 採算の状況－前年同期比－



小売業の動向

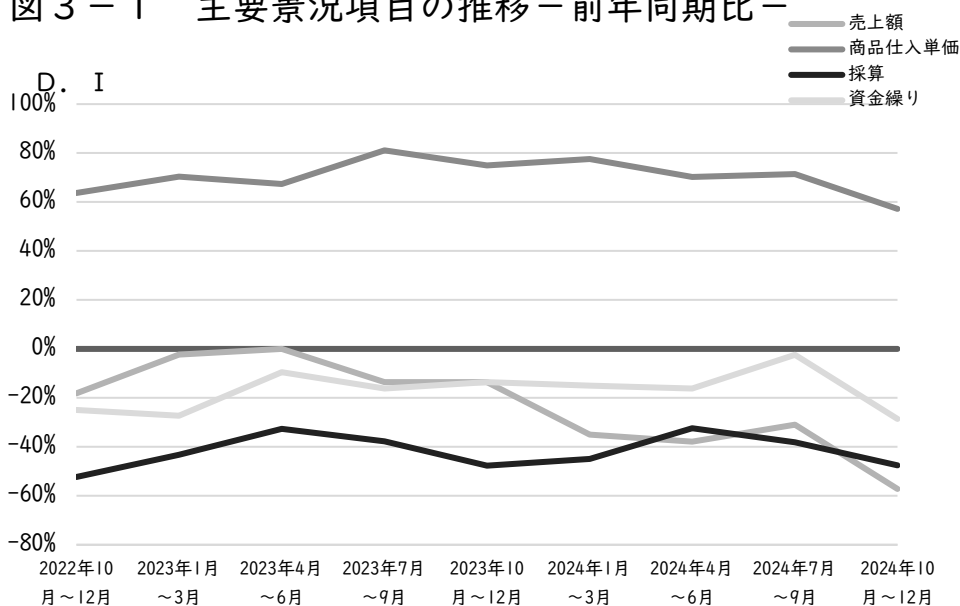
○主要景況項目から見た概要

- ・売上高DI値は、 $\Delta 31.0 \rightarrow \Delta 57.2$ と26.2ポイント下降
(同全国値は、 $\Delta 21.5 \rightarrow \Delta 26.2$ と4.7ポイント下降)
- ・採算DI値は、 $\Delta 38.1 \rightarrow \Delta 47.6$ と9.5ポイント下降
(同全国値は、 $\Delta 30.3 \rightarrow \Delta 33.7$ と3.4ポイント下降)
- ・資金繰りDI値は、 $\Delta 2.4 \rightarrow \Delta 28.6$ と26.2ポイント下降
(同全国値は、 $\Delta 19.0 \rightarrow \Delta 22.6$ と3.6ポイント下降)

今期は、売上高DI・採算DI・資金繰りDIでマイナス幅が拡大した。

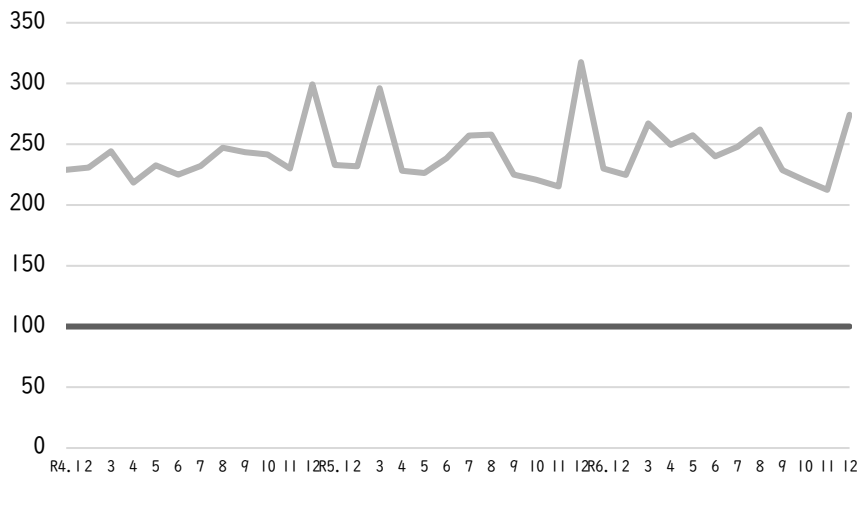
来期は、売上高DI・採算DI・資金繰りDIでマイナス幅に縮小が見込まれる。

図3-1 主要景況項目の推移－前年同期比－



項目 \ 期	2022年1月～3月	2022年4月～6月	2022年7月～9月	2022年10月～12月	2023年1月～3月
売上額	$\Delta 20.9$	0.0	$\Delta 18.6$	$\Delta 18.2$	$\Delta 2.3$
原材料仕入単価	48.9	68.2	62.8	63.7	70.4
採算	$\Delta 32.6$	$\Delta 34.1$	$\Delta 42.9$	$\Delta 52.3$	$\Delta 43.2$
資金繰り	$\Delta 25.6$	$\Delta 13.7$	$\Delta 23.3$	$\Delta 25.0$	$\Delta 27.3$

図3-2 売上額推移（月別指数）



54年 7月～55年 6月 = 100.0 (4597.40 千円) 全国売上額月平均

図3-3 売上額の状況－前年同期比－

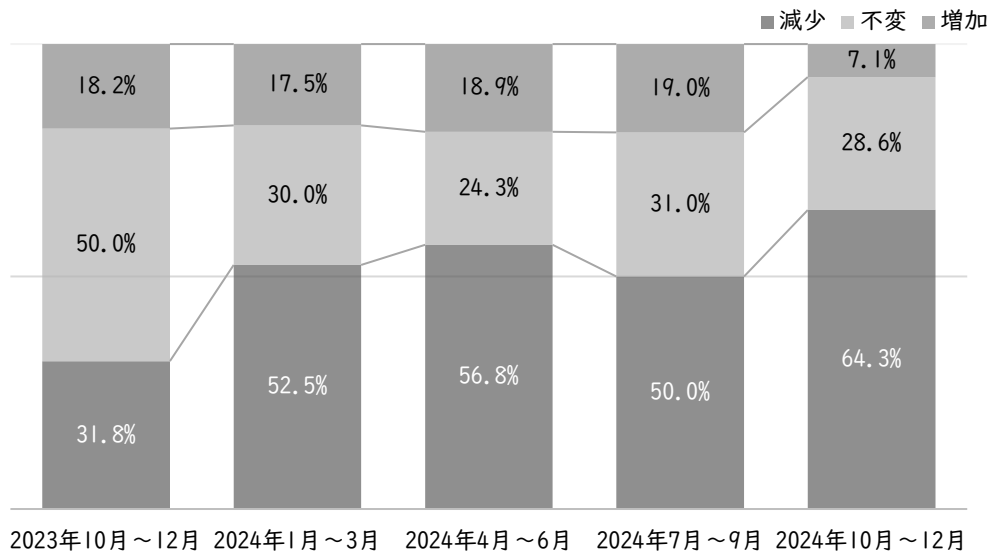


図3-4 採算の状況－前年同期比－

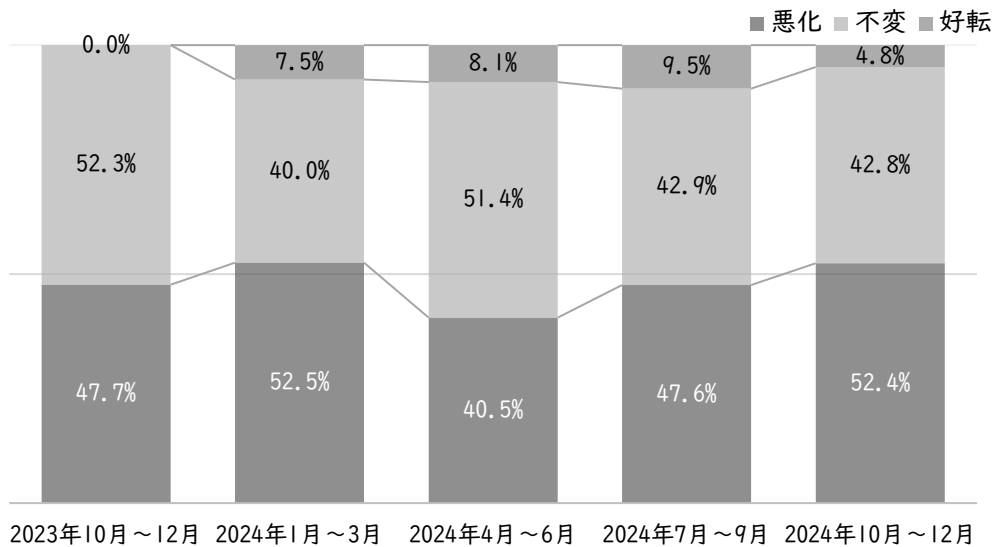


図3-5 設備投資の状況

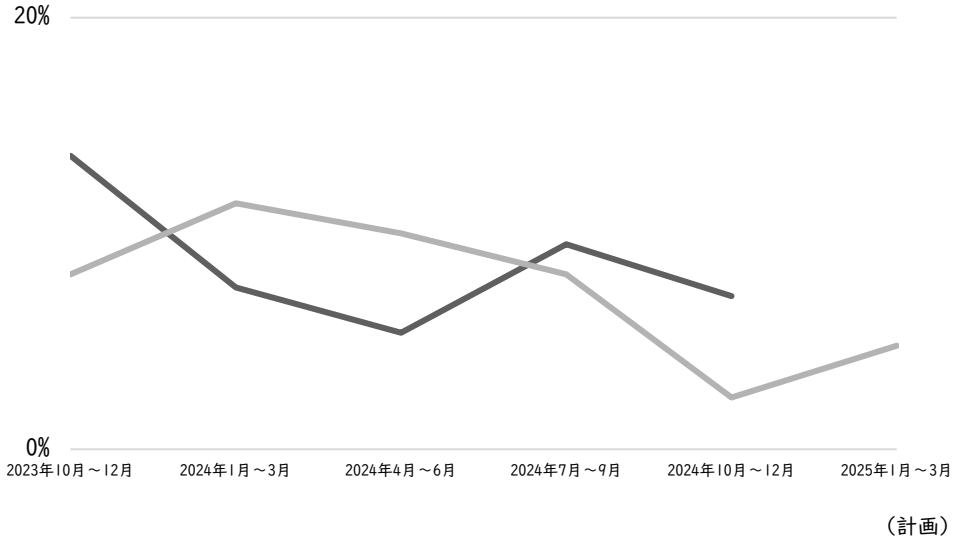


図3-6 経営上の問題点の状況（1位と1位～3位）

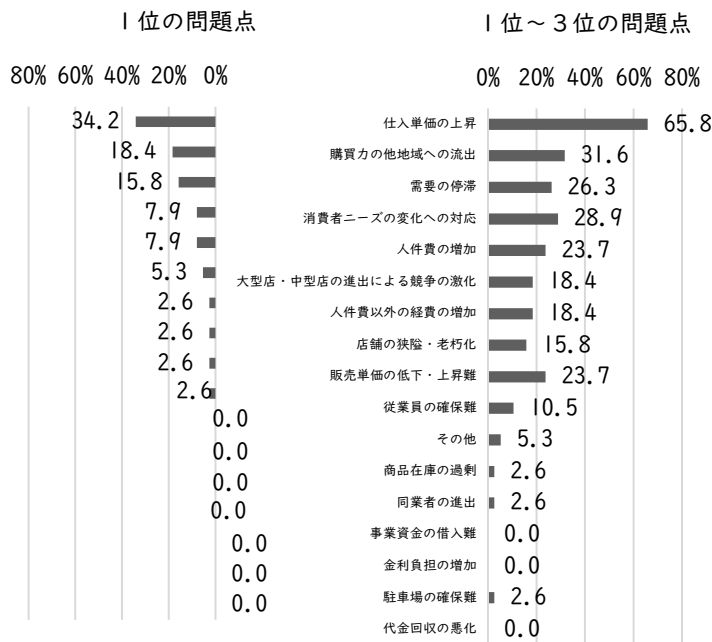


図3-7 経営上の問題点の推移

（1位の問題点・上位5つ）

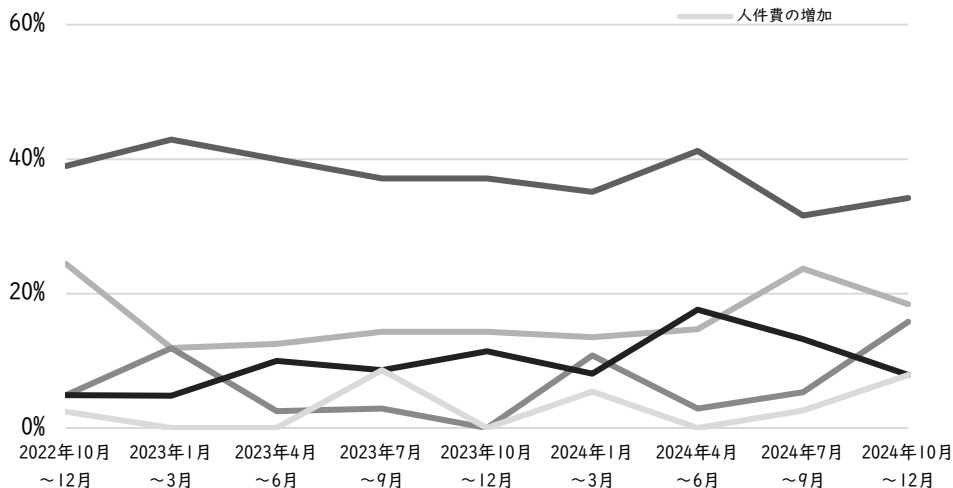


図3-8 売上額の状況－前年同期比－

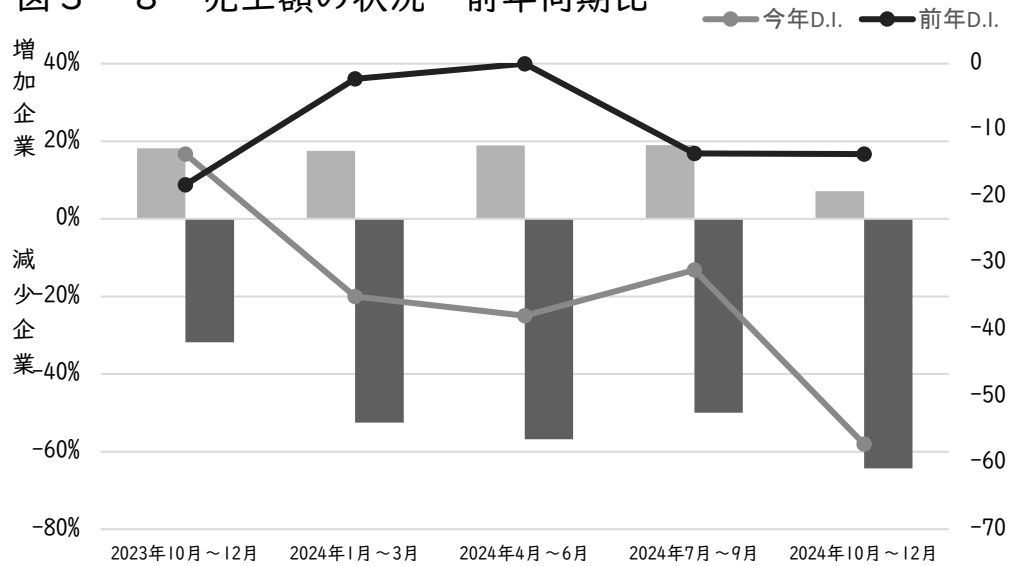
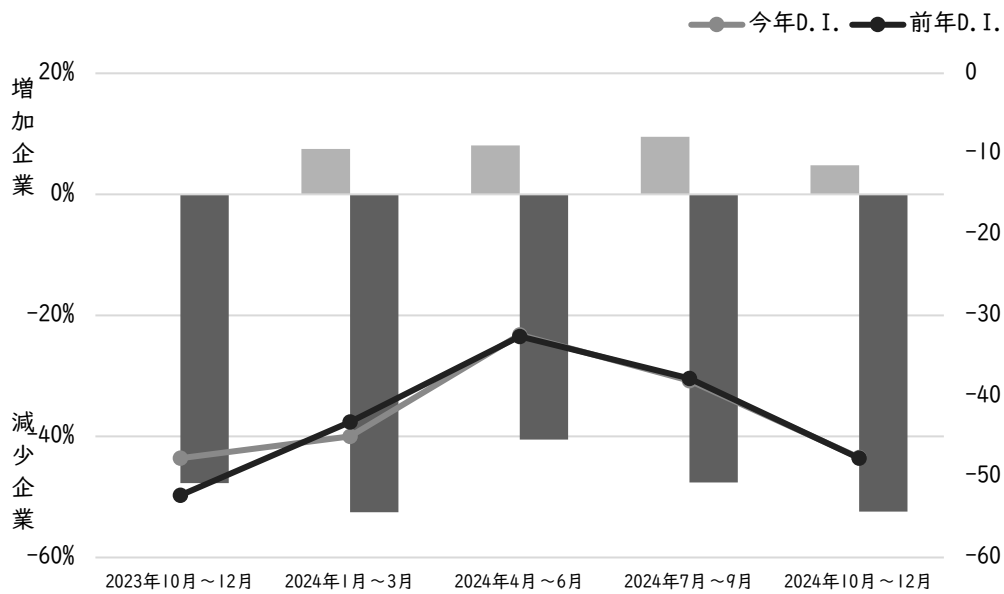


図3-9 採算の状況－前年同期比－



サービス業の動向

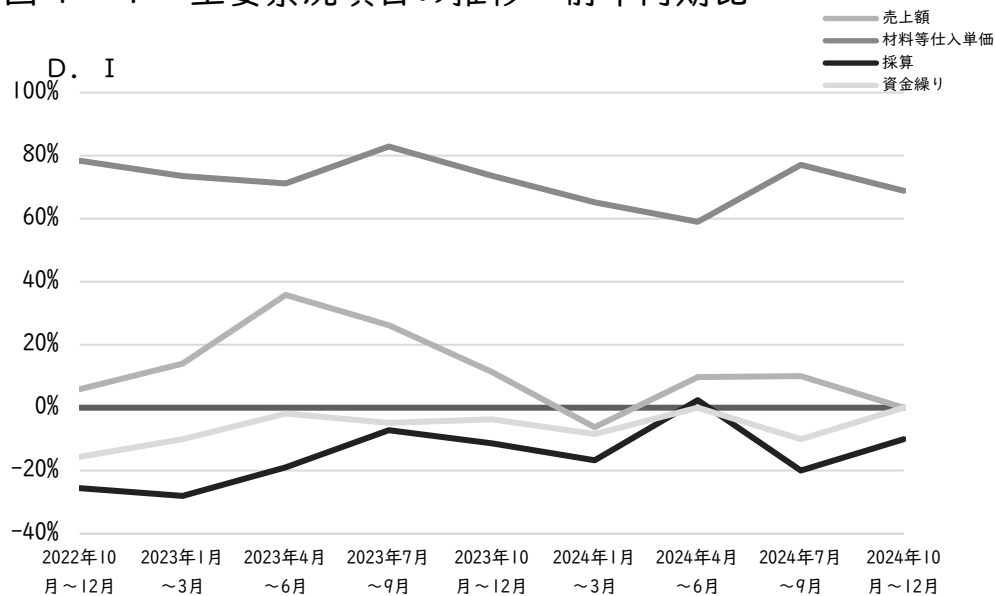
○主要景況項目から見た概要

- ・売上高DI値は、10.0→.0と10.0ポイント下降
(同全国値は、 $\Delta 1.0 \rightarrow \Delta 6.1$ と5.1ポイント下降)
- ・採算DI値は、 $\Delta 20.0 \rightarrow \Delta 10.0$ と10.0ポイント上昇
(同全国値は、 $\Delta 22.1 \rightarrow \Delta 25.5$ と3.4ポイント下降)
- ・資金繰りDI値は、 $\Delta 10.0 \rightarrow .0$ と10.0ポイント上昇
(同全国値は、 $\Delta 11.3 \rightarrow \Delta 12.7$ と1.4ポイント下降)

今期は、売上高DIでプラスが悪化し、採算DIでマイナス幅が縮小し、資金繰りDIでマイナスが改善した。

来期は、売上高DIがマイナスに悪化、採算DIでマイナス幅が拡大、資金繰りDIでマイナスに悪化が見込まれる。

図4-1 主要景況項目の推移－前年同期比－



項目 \ 期	2022年1月～3月	2022年4月～6月	2022年7月～9月	2022年10月～12月	2023年1月～3月
売上額	$\Delta 43.1$	1.9	0.0	5.9	14.0
原材料仕入単価	38.8	64.0	75.6	78.4	73.5
採算	$\Delta 46.0$	$\Delta 27.4$	$\Delta 30.0$	$\Delta 25.5$	$\Delta 28.0$
資金繰り	$\Delta 24.0$	$\Delta 5.8$	$\Delta 12.3$	$\Delta 15.6$	$\Delta 10.0$

図4-2 売上額推移（月別指数）

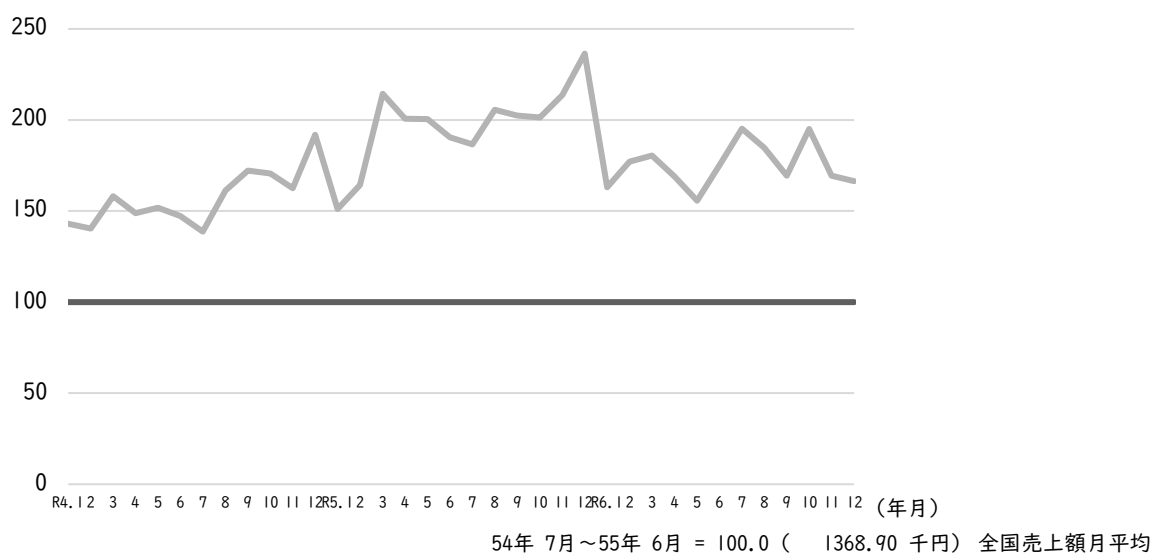


図4-3 売上額の状況－前年同期比－

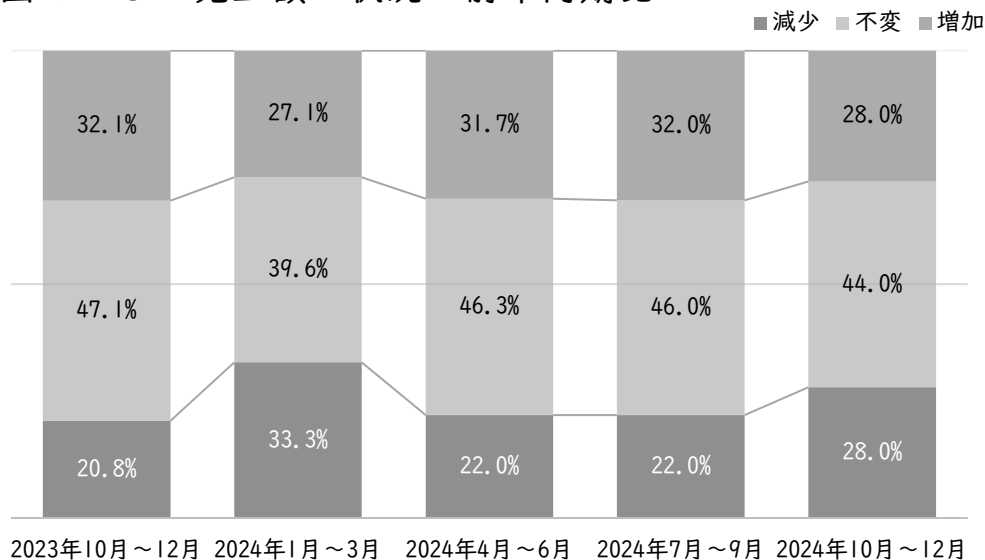


図4-4 採算の状況－前年同期比－

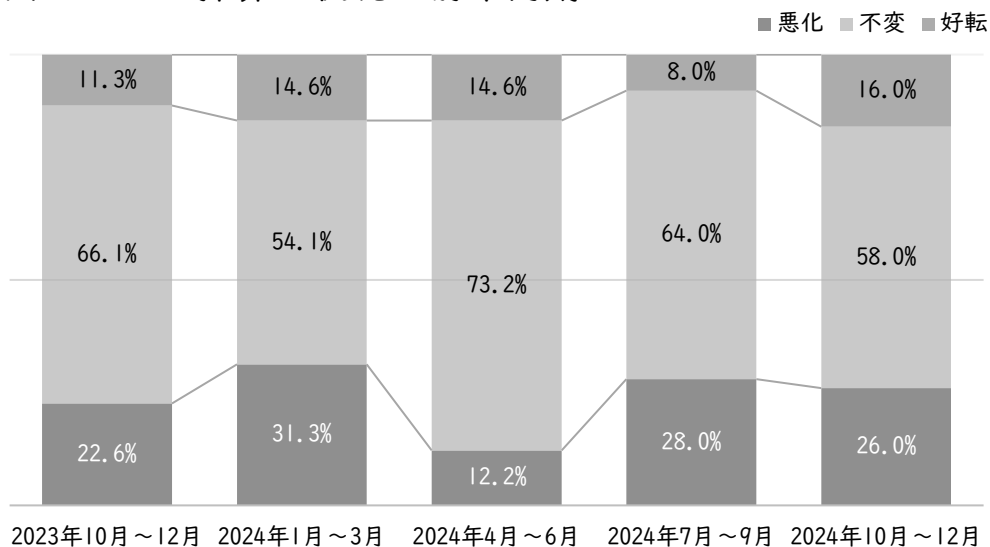


図4-5 設備投資の状況

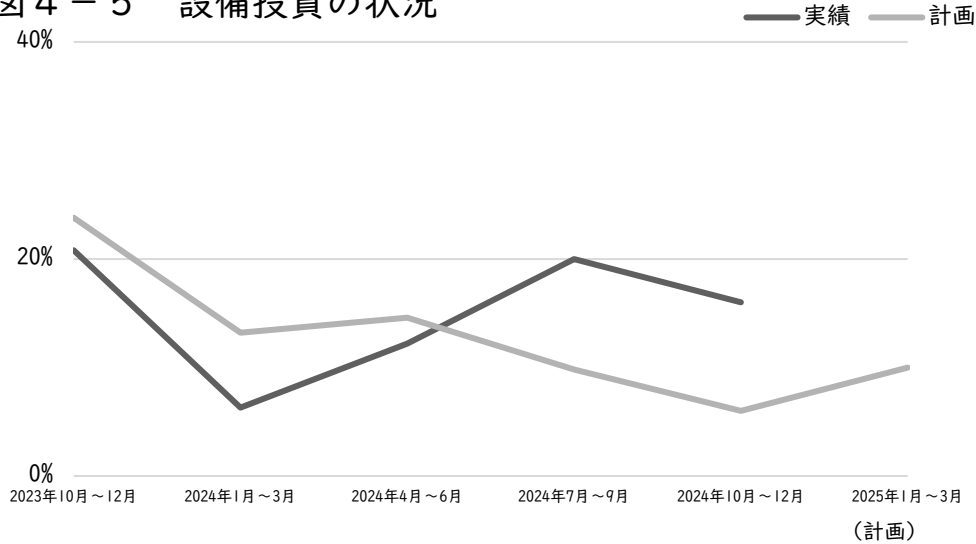


図4-6 経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)

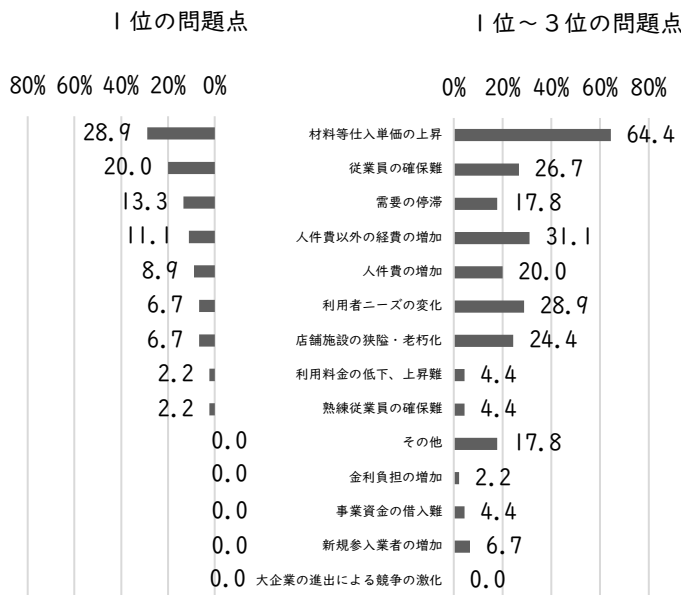


図4-7 経営上の問題点の推移

(1位の問題点・上位5つ)

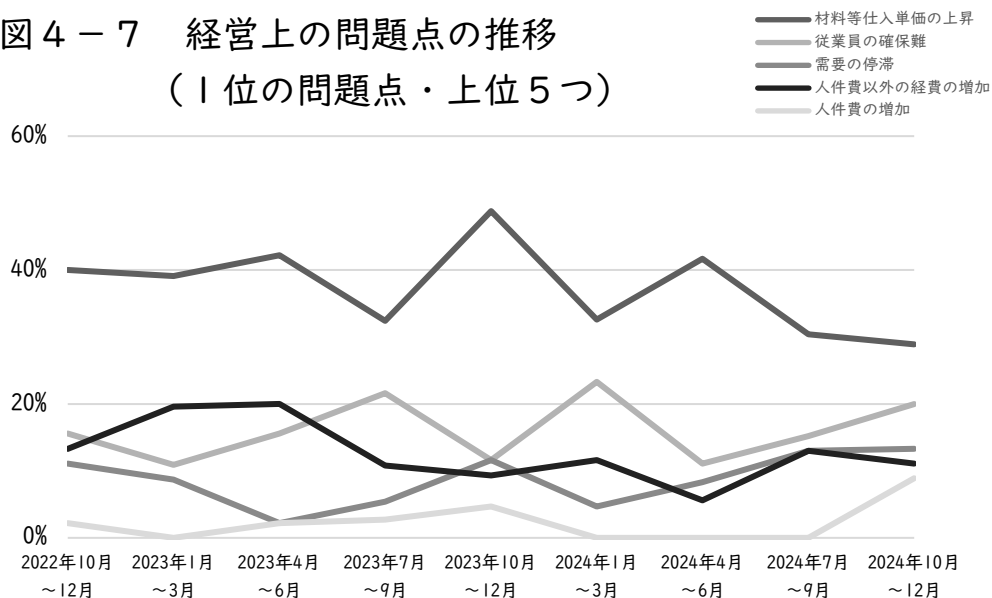


図4-8 売上額の状況－前年同期比－

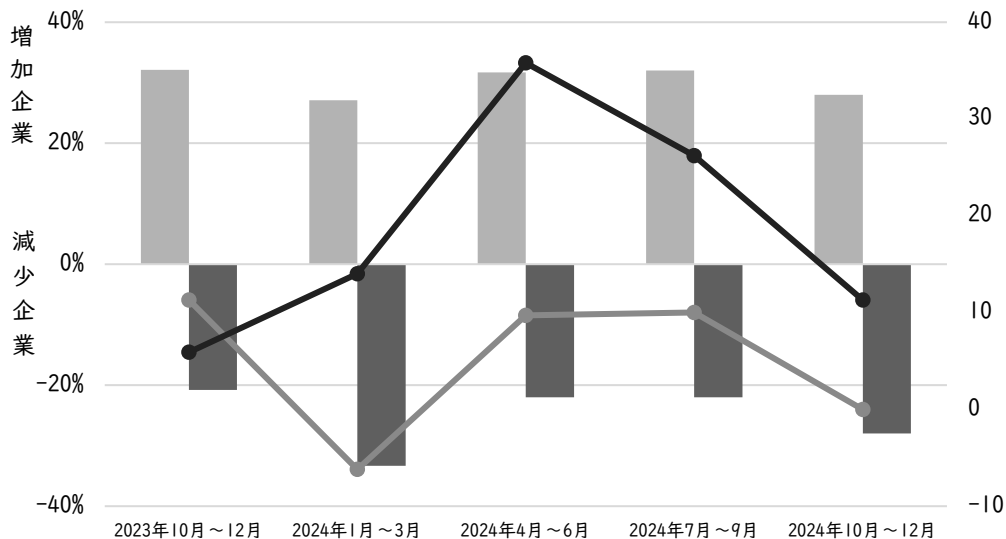
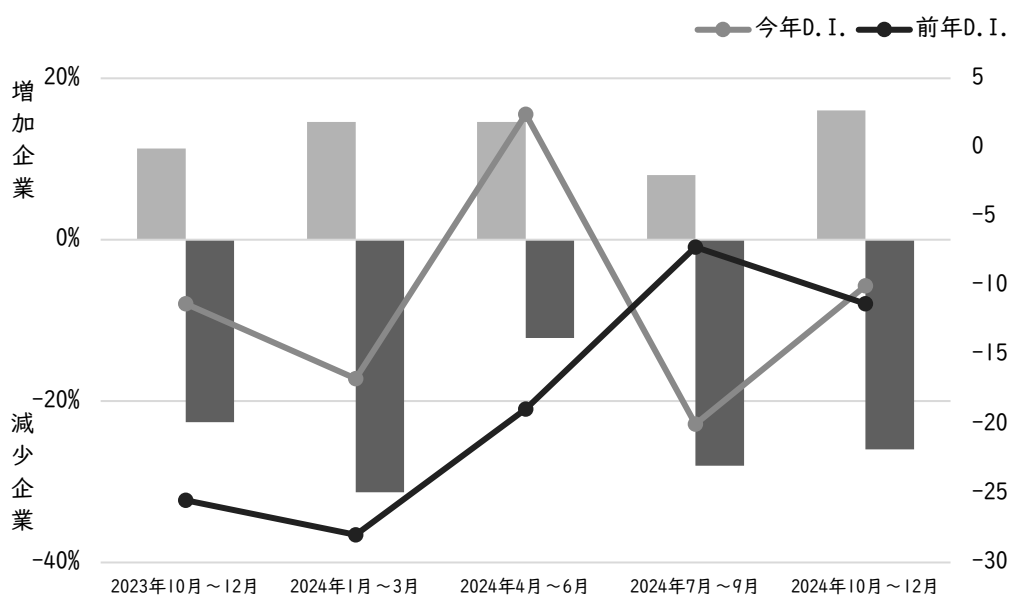
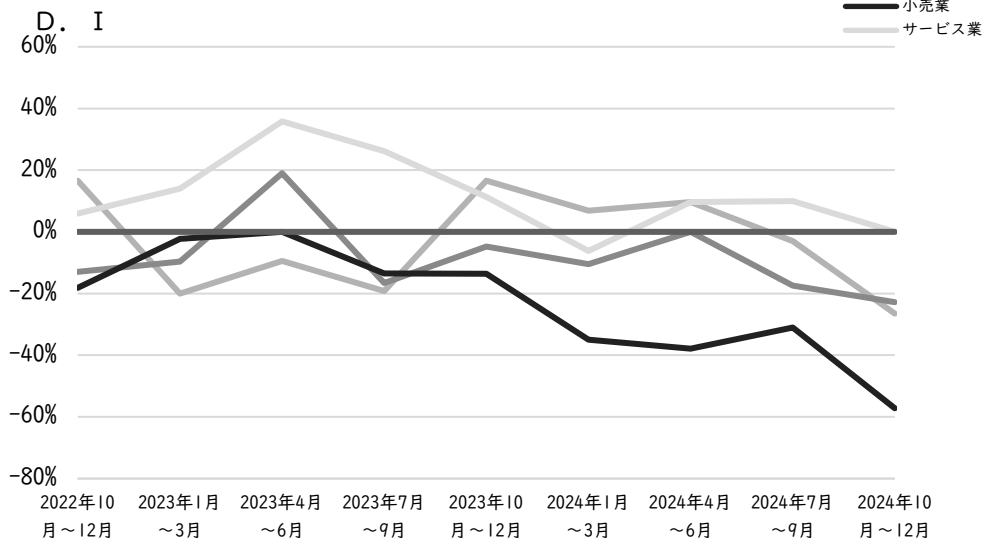


図4-9 採算の状況－前年同期比－

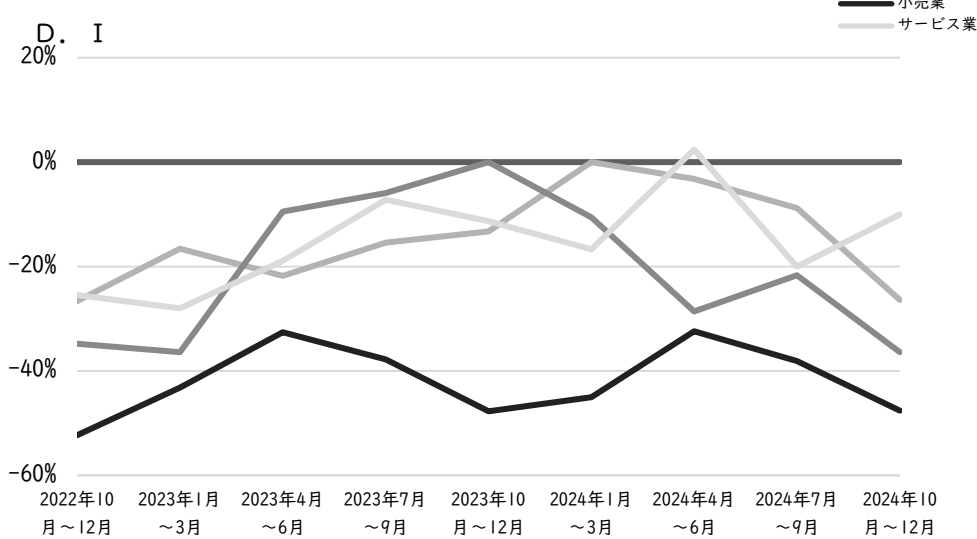


全産業の動向

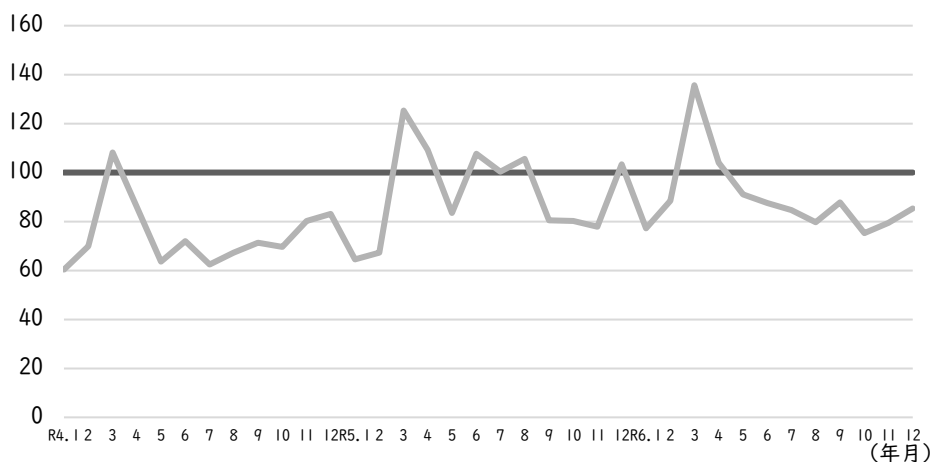
全産業 売上（完成工事）額の推移－前年同期比－



全産業 採算の推移－前年同期比－



全産業 売上額推移（月別指数）



54年 7月～55年 6月 = 100.0 (8213.00 千円) 全国全産業売上額月平均